Panasonic®

（CF-SX1シリーズのイラストです。）

取扱説明書　準備と設定ガイド

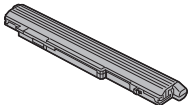
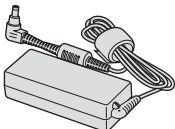
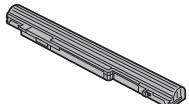
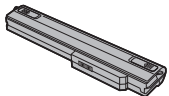
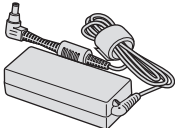
パーソナルコンピューター

品番 CF-SX1/CF-NX1/CF-J10シリーズ

（Windows 7/Windows XP）

初めにお読みください

本書は、お買い上げ後、初めてWindowsの操作を始めるまでの手順や修理を依頼する際のアフターサービス、仕様などについて説明します。
また、モデルによって異なる内容についても説明しています。
本書および『取扱説明書 基本ガイド』をよくお読みいただき、大切に保管してください。

もくじ

表記について

- （画面で見るマニュアルのマーク）は画面で見るマニュアルのマークです。
- この説明書は、CF-SX1シリーズ、CF-NX1シリーズ、CF-J10シリーズ共用です。共通部分のイラストはCF-SX1シリーズを使用しています。共通でない部分は、対象品番を表示しています。
- 本書では、「Windows® 7 Professional 32ビット 正規版（Service Pack 1 適用済み）（日本語版）」および「Windows® 7 Professional 64ビット 正規版（Service Pack 1 適用済み）（日本語版）」を「Windows」または「Windows 7」と表記し、「Microsoft® Windows® XP Professional Service Pack 3 正規版」を「Windows」または「Windows XP」と表記します。

1 付属品の確認

付属品が足りなかったり、購入したものと異なったりした場合は、ご相談窓口にご連絡ください（➡30ページ、裏表紙）。

	バッテリーパック※1	ACアダプター	その他
CF-SX1シリーズ **CF-NX1シリーズ**	CF-SX1GDHYS/ CF-SX1GDRYS/ CF-SX1GVRYS/ CF-NX1GDHYS/ CF-NX1GDEYS/ CF-NX1GVRYS 品番：CF-VZSU76JS CF-SX1GWJYS/ CF-NX1GWGYS/ CF-NX1VWJYS 品番：CF-VZSU75JS	品番：CF-AA6412C	•電源コード※2 ······ 1本 •保証書 ······ 1枚 •取扱説明書 - 準備と設定ガイド（本書） ······ 1冊 - 基本ガイド ······ 1冊 •修理依頼書 ······ 1枚 ワイヤレスWAN搭載モデルのみ •封筒 ······ 1枚 •NTT ドコモ FOMAサービス契約 本人確認書類送付用　送付書 ······ 1枚 •取扱説明書 ワイヤレスWAN 接続ガイド ······ 1枚 （FOMAカードは付属していません。回線の申し込みが完了すると、NTT ドコモからFOMAカードが届きます。） 指紋センサー搭載モデルのみ •取扱説明書 指紋認証の使い方 ······ 1冊
CF-J10シリーズ	CF-J10VWHDS 品番：CF-VZSU67JS	品番：CF-AA6402A	

※1 バッテリーパックの品番は、バッテリーパック底面に記載されていますのでご確認ください。
※2 付属の電源コードは、CF-AA6402A、CF-AA6412C以外の製品などに転用しないでください。

- ジャケットは付属していません。
- 『取扱説明書 無線LAN接続ガイド』および『取扱説明書 Windows® 7入門ガイド』は付属しておりません。
  Windows 7用の各種説明書は、下記サポートページからダウンロードすることもできます。
  http://askpc.panasonic.co.jp/s/download/manual.html

重 要

< Windows XPダウングレード済みモデルをお使いの場合>
本機の包装袋のシールをはがす前に、必ず『取扱説明書 基本ガイド』の「ソフトウェア使用許諾書」をご確認ください。

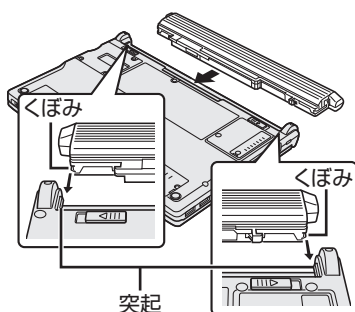
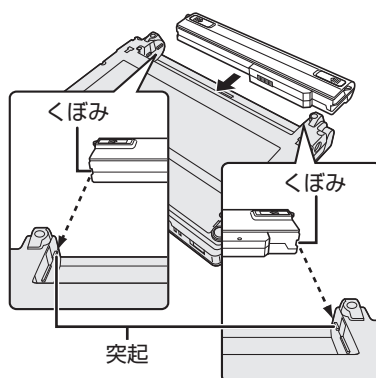
2 バッテリーパックを取り付ける

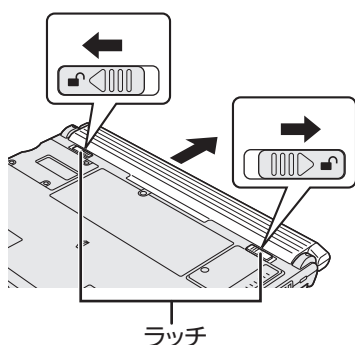
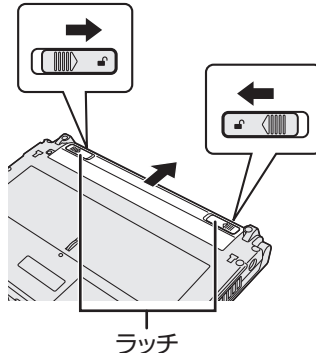
重 要

- 左右のラッチが正しくロックされていない状態で本機を持ち運ぶと、バッテリーパックが外れることがあります。
- バッテリーパックや本機のコネクター部分に触れないでください。
  汚れ、損傷などで接触が悪くなると、充電が正しく行われなかったり、本機が正しく動作しなかったりする場合があります。

本体を裏返し、バッテリーパックを矢印の方向にスライドして取り付ける。

バッテリーパックの左右のくぼみとパソコン本体の突起が合うように挿入してください。

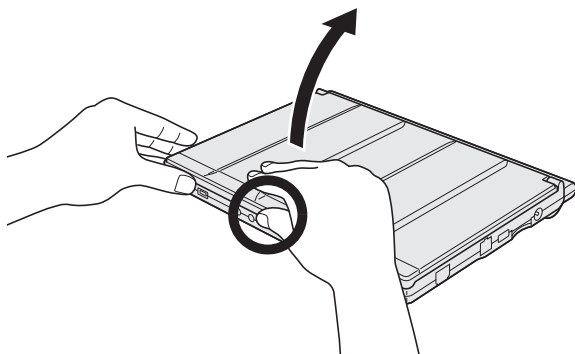
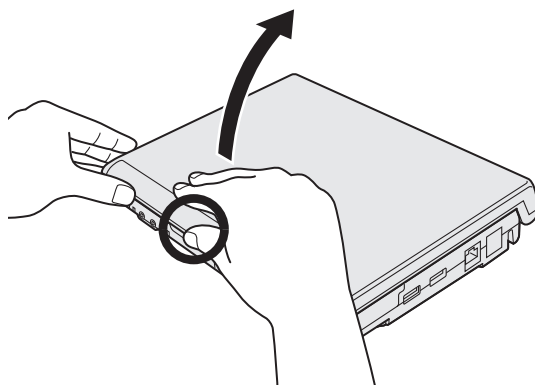
CF-SX1/CF-NX1シリーズ

CF-J10シリーズ

- **バッテリーパックの取り外し方**
  左右のラッチをロック解除🔓の方向にスライドした状態で、本体と平行にバッテリーパックを押し出す。

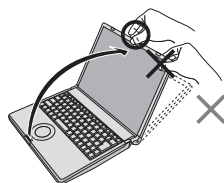
CF-SX1/CF-NX1シリーズ

CF-J10シリーズ

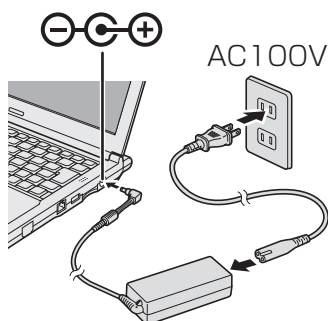
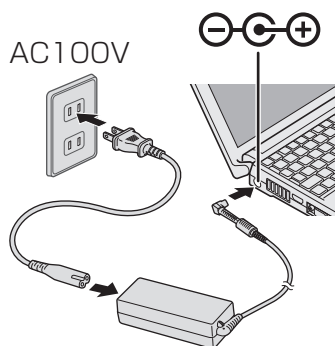
3 電源を入れる

1 ディスプレイを開く

パソコンの側面に手を添え、○印の部分を持ってディスプレイを開く。

CF-SX1/CF-NX1シリーズ

CF-J10シリーズ

重 要

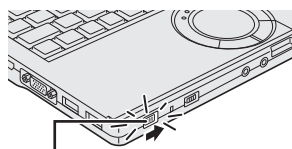
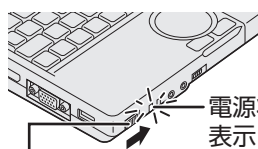
- ディスプレイを135°以上（CF-SX1シリーズは180°以上）開けたり、必要以上の力を加えたりしないでください。
- ディスプレイを開閉する際は、右図の○印の部分をお持ちください。液晶部分の端を持って開閉すると、液晶が破損する場合があります。
- ディスプレイを開くときにパソコンが浮く場合は、側面などに手を添えて開いてください。

2 ACアダプターを接続する

ACアダプターを接続すると、自動的にバッテリーの充電が始まります。

CF-SX1/CF-NX1シリーズ

重 要

- 本書で説明しているWindowsのセットアップが完了するまで、ACアダプターは抜かないでください。
- バッテリーパックとACアダプター以外の周辺機器は接続しないでください。

3 電源を入れる

電源スイッチ⏻をスライドし、電源状態表示ランプが点灯したら手を離します。
●電源スイッチを４ 秒以上スライドさせたり、連続してスライドさせたりしないでください。

CF-SX1/CF-NX1シリーズ

電源スイッチ /
電源状態表示ランプ⏻

重 要

< Windows 7をセットアップする場合>

●電源を入れた後、Windowsのセットアップ画面が表示されるまでの間、画面が真っ黒になったり、同じ画面がしばらく表示されたりしますが、故障ではありません。そのままお待ちください。

●本機では、ハードディスクドライブの管理情報などがハードディスク内に定期的に記録されます。記録されるデータ量は、１回あたり最大1024バイトです。
これらの情報は、万が一ハードディスクが故障したときの原因を推定するためにのみ使用するもので、本情報をネットワーク経由で外部に発信したり、目的以外に使用したりすることはありません。
この機能を無効にするには、Windowsのセットアップが終わった後に、PC情報ビューアーの[ハードディスク使用状況]の[管理情報の履歴を自動的に記録する機能を無効にする]のチェックボックスにチェックマークを付けて[OK]をクリックしてください。
ただし、無効にするとPC情報ポップアップのハードディスクの使い方に関するお知らせ機能※1も無効になります。
詳しくは、Windowsのセットアップが終わった後に、『操作マニュアル』「（レッツノート活用）」の「パナソニックからの必要な情報を確認する」および『困ったときのQ&A』「サポート情報 / 使用状況を調べる」の「本機の使用状態を確認したい」をご覧ください。
※1 ハードディスクの使い方に関するお知らせ機能は、フラッシュメモリードライブ搭載モデルではお使いいただけません。

4 Windowsをセットアップする 所要時間：約20分

セットアップの前に

Windowsを使用できるようになるまで 、必ずACアダプターを接続した状態にしておいてください。

- Windowsのセットアップが完了するまで、セットアップユーティリティの設定を変更しないでください。セットアップが正しく動作しない場合があります。

ホイールパッドの基本操作

マウスと同じように、ポインターを動かしたり機能を選択したりします。
Windowsのセットアップ時、ポインターの移動やボタンなどの選択（クリック）には、ホイールパッドの操作面と左ボタンを使います。

CF-SX1/CF-NX1シリーズ

CF-J10シリーズ

機能	操作
ポインターを動かす	指先を操作面で動かす。
タップ／クリック／右クリック	タップ または クリック　右クリック
ダブルタップ／ダブルクリック	ダブルタップ または ダブルクリック
ドラッグ	1回タップしてから素早く指先で操作面をこする。 または ボタンを押しながら指を移動させる。
縦／横スクロール	下方向／右方向 または 上方向／左方向 ホイールパッドの端から円を描くようになぞる。 横スクロールは、ご使用前に初期設定が必要です。 ➡ 『操作マニュアル』「（ホイールパッド）」

重 要

- 操作面にものを置いたり、爪など先のとがったものや硬いもの、ペンのような跡の残るもので操作したりしないでください。
- 油などでホイールパッドを汚さないでください。ポインターが正常に動かなくなります。

Windows 7のセットアップ

重 要

電源を入れた後、Windowsのセットアップ画面が表示されるまでの間、画面が真っ黒になったり、同じ画面がしばらく表示されたりしますが、故障ではありません。そのままお待ちください。

1 設定を変更せずに[次へ]をクリックする。

2 ユーザー名をキーボードで入力し、[次へ]をクリックする。

- ユーザー名は自由に入力してください。ただし、@、&、CON、PRN、AUX、CLOCK$、NUL、COM1 ～ COM9、LPT1 ～ LPT9、全角文字（例えば、漢字、ひらがな、全角カタカナ、全角英数など）、半角スペースは使用しないでください。特に「@」を含んだユーザー名を設定すると、パスワードを設定していなくてもログオン画面でパスワードの入力が求められます。空白でログオンしようとしても「ユーザー名またはパスワードが正しくありません」と表示され、ログオンできなくなります。ログオンできない場合は、Windowsの再インストールが必要になります。再インストールの方法については、付属の『取扱説明書 基本ガイド』をご覧ください。
- コンピューター名は、ネットワークを使用して複数のパソコンと接続する場合に本機を識別するための名前です。ユーザー名を入力すると、コンピューター名にも「ユーザー名-PC」が自動的に入力されます。必要に応じて変更してください。ネットワークに接続しない場合は、画面に表示された名前を変更する必要はありません。
- この画面の設定は後で変更可能です。

3 パスワードとパスワードのヒントをキーボードで入力し、[次へ]をクリックする。

- パスワードに使える文字は、半角の英数字と記号です。英字の大文字と小文字は区別されます。
- この画面の設定は後で変更可能です。

メ モ

- Shift を押しながら Caps Lock を押してキャップスロックにしていたり、NumLk を押してテンキーモードが有効になっていたりすると、設定したいパスワードと異なるパスワードが入力／設定されてしまうおそれがあります。
- 設定したパスワードは必ず覚えておいてください。パスワードを忘れるとWindowsにログオンできなくなります。

4 ライセンス条項をよく読む。

5 [ライセンス条項に同意します（Windowsを使用するには同意が必要）]と[ライセンス条項に同意します（コンピューターを使用するには同意が必要）]をクリックしてチェックマークを付け、[次へ]をクリックする。

6 [推奨設定を使用します]をクリックする。

Windowsの自動更新が[有効]になり、インターネット接続時にWindowsの更新プログラムが自動的にインストールされます。[重要な更新プログラムのみインストールします]または[後で確認します]を選択する場合は、[それぞれのオプションについての詳細情報を表示します]をクリックし、内容をよくお読みください。

7 タイムゾーンと日付を設定し、[次へ]をクリックする。

- 日付
  カレンダー上部の◀ ▶をクリックして年月を選び、日をクリックします。
- 時刻
  時間、分、秒をクリックした後、数字を直接入力するか、時刻の右側の⬍をクリックします。

「ようこそ」のメッセージが表示された後に「--初期設定を行っています。--」の画面が表示され、各種設定が行われた後、Windowsが起動します。

4 Windowsをセットアップする

- 「Internet Explorer 9の設定」画面が表示された場合は、画面を操作せずにそのままお待ちください。
- 「設定が完了すると自動的に再起動しますので、そのままお待ちください」というメッセージが表示され、各種設定が行われます。Windowsが自動的に再起動するまで、そのままお待ちください。この間、ACアダプターを抜いたり電源を切ったりしないでください。

8 ログオン画面が表示された場合は、手順3で設定したパスワードを入力して をクリックする。

パスワードを設定していない場合やモデルによってはログオン画面が表示されない場合があります。

メモ

CF-SX1シリーズ

● 工場出荷時はCD/DVDドライブの電源がオフに設定されているため、[コンピューター]などでCD/DVDドライブが表示されません。CD/DVDドライブの電源をオンにすると、表示されるようになります。
また、オンにしたとき、通知領域に「新しいハードウェアが見つかりました」と表示される場合があります。
CD/DVDドライブの電源をオンにするには、次の手順を行ってください。
① 画面右下の通知領域の をクリックし、 (電源プラン拡張ユーティリティ)をクリックする。
② [オプティカルディスクドライブの電源]をクリックし、[オン]をクリックする。

Windows 7の設定を変更する

Windowsのセットアップ時にパスワードを設定し忘れた場合や、自動更新の設定を変更したい場合は、セットアップ完了後、次の手順で変更できます。

● パスワードを設定する

パスワードの設定方法については、 『操作マニュアル』「 (セキュリティ)」の「ユーザーアカウント/Windowsパスワードを設定する」をご覧ください。

● 自動更新を設定する

「Windows 7のセットアップ」の手順6(➡7ページ)で[後で確認します]を選択した場合などに行ってください。

自動更新を「有効」にしておくと、インターネット接続時にWindowsの重要な更新プログラム(セキュリティの更新など)が提供されていないか定期的に確認され、自動的にインストールされます。

1 (スタート) - [コントロールパネル]をクリックし、[システムとセキュリティ] - [アクションセンター]をクリックする。

2 [Windows Update]の[設定の変更]をクリックする。

[自動更新]がすでに「有効」になっている場合は、[Windows Update]の項目は表示されません。

3 [自動的に更新プログラムをインストールします]をクリックする。

「ユーザーアカウント制御」の画面が表示された場合は[はい]をクリックしてください。

手順2の画面に戻ります。

[Windows Update]の項目が表示されていないことを確認してください。

4 をクリックし、表示しているウィンドウをすべて閉じる。

自動更新の設定はこれで完了です。

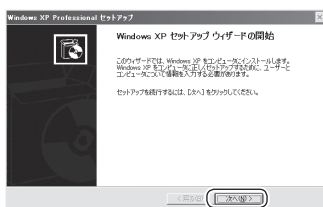
メモ

● 自動更新が「有効」になっているときに設定を変更するには、 (スタート)-[コントロールパネル]-[システムとセキュリティ]-[自動更新の有効化または無効化]をクリックしてください。

Windows XPのセットアップ

重要

● セットアップ中、カーソルが のまま、次の画面に移るまでしばらくかかることがあります。
キーボードやホイールパッドなどを操作せずにそのままお待ちください。
画面に「応答なし」と表示されたり、画面の一部が白く表示されたりする場合も、次の画面が表示されるまでしばらくお待ちください。

1 [次へ]をクリックする。

2 使用許諾契約をよく読み、[同意します]をクリックして、[次へ]をクリックする。

[同意しません]をクリックした場合、Windowsはお使いいただけません。

3 正しい地域が選択されていることを確認し、[次へ]をクリックする。

お買い上げ時は、日本に設定されています。

4 名前を入力し、[次へ]をクリックする。

組織名は入力しなくてもかまいません。

5 「コンピュータ名」と「Administratorのパスワード」をキーボードで入力し、[次へ]をクリックする。

- 「コンピュータ名」は、ネットワークを使用して複数のパソコンと接続する場合に、本機を識別するための名前です。ネットワークに接続しない場合は、変更する必要はありません。
- パスワードは任意の文字列を入力してください。指定の文字列はありません。
  パスワードに使える文字は、半角の英数字と記号です。英字の大文字と小文字は区別されます。

メモ

- Shift を押しながら Caps Lock を押してキャップスロックにしていたり、NumLk を押してテンキーモードが有効になっていたりすると、設定したいパスワードと異なるパスワードが入力/設定されてしまうおそれがあります。
- 設定したパスワードは、必ず覚えておいてください。Windowsにログオンできなくなります。

パスワードを設定せずに次へ進んだ場合：
Windowsのセットアップ後に[コントロールパネル]でパスワードを設定できます。
セットアップ後にパスワードを設定する場合は、『操作マニュアル』「(セキュリティ)」の「Windowsのパスワードを設定する」の「Windowsの無断使用を防ぐ」をご覧ください。

6 ▼ や ▲、▼ をクリックして、正しい日付と時刻、タイムゾーンを設定し、[次へ]をクリックする。

7 パソコンが再起動するまで待つ。

重 要

- 手順6で[次へ]をクリックした後、2分〜3分程度「日付と時刻の設定」画面が表示されたままになる場合があります。キーボードやホイールパッドなどを操作せずにそのままお待ちください。
  画面に「応答なし」と表示されたり、画面の一部が白く表示されたりする場合も、次の画面が表示されるまでしばらくお待ちください。
- 次の画面が表示された場合、[OK]をクリックし、パソコンが自動的に再起動するまでしばらくお待ちください。

  この画面については、マイクロソフト社の下記サポートページもご覧ください。
  http://support.microsoft.com/kb/835362/ja
- 各種設定が自動的に行われた後、パソコンが自動的に再起動します。

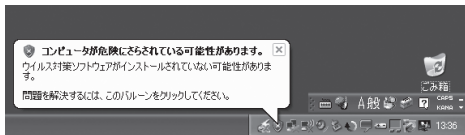
8 手順5で設定したパスワードを入力して ➡ をクリックする。

- パスワード入力時に文字入力の設定がキャップスロックやテンキーモードになっていないことを確認してください。
- 「初期設定を行っています」という画面が表示された場合は、画面が消えるまでキーボードやホイールパッドなどを操作せずにそのままお待ちください。

9. [スタート]-[コントロールパネル]をクリックし、[セキュリティセンター]をクリックする。
   Windowsのセットアップ直後は、[スタート]がクリックされた状態([スタート]の上に[すべてのプログラム]などのメニューが表示された状態)になっている場合があります。
10. [自動更新を有効にする]をクリックする。
   自動更新を有効にすると、インターネット接続時にWindowsの重要な更新プログラム(セキュリティの更新など)が提供されていないか定期的に確認され、自動的にインストールされます。
11. ☒をクリックし、表示しているウィンドウをすべて閉じる。

これでWindowsのセットアップは完了です。
引き続き、ユーザーアカウントを作成(➡右記)してください。

メモ

● 以下のメッセージは、Windowsの[セキュリティセンター]機能が表示しているメッセージで故障やエラーのメッセージではありません。そのまま、次の手順に進んでください。

詳しくは、『困ったときのQ&A』「タスクトレイ」をご覧ください。

CF-SX1シリーズ

● 工場出荷時はCD/DVDドライブの電源がオフに設定されているため、[マイ コンピュータ]などでCD/DVDドライブが表示されません。CD/DVDドライブの電源をオンにすると、表示されるようになります。
また、オンにしたとき、タスクトレイに「新しいハードウェアが見つかりました」と表示される場合があります。
CD/DVDドライブの電源をオンにするには、次の手順を行ってください。
① 画面右下のタスクトレイの(オプティカルディスクドライブ:オフ)をクリックする。
② [手動切替]の[オン]をクリックする。

Windows XPのユーザーアカウントを作成する

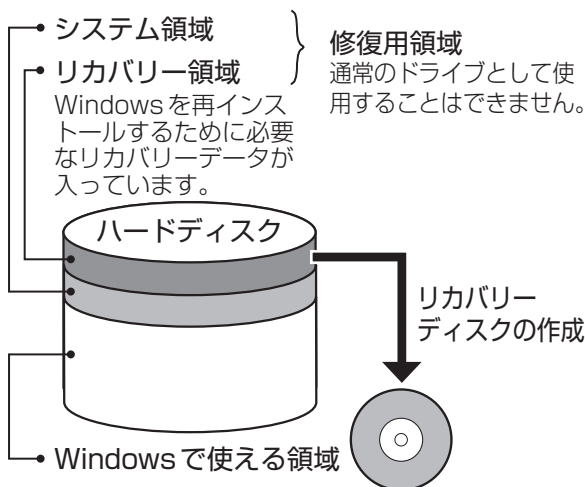
メールの設定やアプリケーションソフトのインストールなどの各種操作を行ってからユーザーアカウントを作成すると、それまでのメールの履歴や設定内容が使用できなくなります。
Windowsのセットアップ完了後、以下の手順をご覧になり、すぐにユーザーアカウントを作成してください。

1. [スタート]-[コントロールパネル]をクリックし、[ユーザーアカウント]をクリックする。
2. [新しいアカウントの作成]をクリックする。
3. アカウント(本機をお使いになる方の名前など)を入力し、[次へ]をクリックする。
   CON、&、PRN、AUX、CLOCK$、NUL、COM1 ~ COM9、LPT1 ~ LPT9、全角文字(例えば、漢字、ひらがな、全角カタカナ、全角英数など)、半角スペースはアカウントの名前に使用しないでください。
4. [アカウントの作成]をクリックする。
5. 手順3で入力したアカウントをクリックする。
6. [パスワードを作成する]をクリックし、画面に従ってパスワードをキーボードで入力する。
   パスワードに使える文字は、半角の英数字と記号です。英字の大文字と小文字は区別されます。
   ここで設定したパスワードは必ず覚えておいてください。パスワードを忘れるとWindows が使用できなくなります。
7. パスワードを忘れたときのために、自分だけにわかる、パスワードを思い出すためのヒントを入力し、[パスワードの作成]をクリックする。
8. [スタート]-[終了オプション]-[再起動]をクリックし、本機を再起動する。
9. 手順3で入力したアカウントのアイコンをクリックし、手順6で設定したパスワードを入力する。
10. ➡をクリックする。

5 リカバリーディスクを作成する

所要時間：約1時間
（DVD-R 8倍速で作成した場合）

リカバリーディスクについて

Windowsが起動しなくなったり、Windowsの動作が不安定になって修復できなくなったりすると、Windowsの再インストールが必要になる場合があります。
本機のハードディスクには、Windowsを再インストールするために必要なリカバリーデータが保存されたリカバリー領域があり、この領域のデータを使ってハードディスクの内容をお買い上げ時の状態に戻すことができます。
また本機には、お買い上げ時の状態に戻すためのリカバリーディスクを作成できる「リカバリーディスク作成ユーティリティ」がインストールされています。リカバリーディスクの作成を希望される場合は、「リカバリーディスクを作成する」（➡12ページ）の手順で作成することができます。

メモ

- リカバリーディスクを使って再インストールするよりも、ハードディスクのデータを使った方が、短い時間で再インストールすることができます。

- **CF-SX1シリーズをお使いの場合**
  内蔵のCD/DVDドライブでリカバリーディスクを作成することができます。
- **CF-NX1/CF-J10シリーズをお使いの場合**
  外付けDVDドライブ（別売り）を準備してください。詳しくは、「リカバリーディスク作成の前に」をご覧ください。（➡12ページ）

メモ

- リカバリーディスク作成後でもハードディスク内にあるリカバリー領域のデータを使って再インストールすることができます。
- ハードディスクのバックアップや復元、パーティションの変更などを行うための市販のアプリケーションソフトをインストールしていると、ハードディスクの一部（先頭部分）が書き換わってしまい、リカバリーディスクが作成できない場合があります。
  リカバリーディスクは、これらのアプリケーションソフトをインストールする前に作成されることをお勧めします。

使用できるディスクの種類と必要枚数

- **使用できるディスクの種類は次の表をご覧ください。**
  「データ用」および「録画用」どちらでも使うことができます。
  必ず未使用のディスクを準備してください。

使用できるディスクの種類
DVD-Rまたは+R（1層） DVD-R DLまたは+R DL（2層）

CF-SX1シリーズの内蔵のCD/DVDドライブおよび推奨の外付けDVDドライブでは以下のディスクは使えません。

- DVD-RW、+RW、DVD-RAM
- Blu-ray Disc
- CD-R、CD-RW

- **必要枚数は、「リカバリーディスクを作成する」の手順6の画面に表示されます。画面に表示された枚数を準備してください。**

●動作確認済み（推奨）のディスクについて

CF-SX1シリーズ

インターネットに接続できる環境で次のWebページにアクセスしてください。
推奨メーカー以外のディスクでは正常に書き込みや書き換え、読み出しなどができない場合があります。
http://askpc.panasonic.co.jp/work/disk/index.html

CF-NX1/CF-J10シリーズ

外付けDVDドライブの説明書をご覧ください。
推奨メーカー以外のディスクでは正常に書き込みや書き換え、読み出しなどができない場合があります。

リカバリーディスク作成の前に

次の点を確認してください。

- ●必ず、ACアダプターを接続してください。
- ●LANケーブルや周辺機器、SDメモリーカードなどは、すべて取り外してください。
- ●自動的に起動するアプリケーションソフトは終了してください。
- ●無線LANでネットワークに接続している場合は、無線切り替えスイッチを左（OFF側）にスライドして無線機能の電源を切ってください。
- ●ハードディスクの空き容量が10 GB以上あることを確認してください。空き容量が足りないと作成できません。

CF-NX1/CF-J10シリーズ

- ●外付けDVDドライブ（別売り）を準備してください。
外付けDVDドライブは、バッファロー製USBポータブルDVDドライブ（品番：DVSM-PC58U2Vシリーズまたは DVSM-PS58U2シリーズ）のご使用をお勧めします。
上記以外のDVDドライブを使ってDL（2層）のディスクをお使いになる場合はDVDドライブがDL対応であることをご確認ください。
動作確認済みのDVDドライブの最新情報については、インターネットに接続できる環境で次のWebページにアクセスしてください。
http://askpc.panasonic.co.jp/work/drive/

リカバリーディスクを作成する

重 要

- ●DVD-R 8倍速で作成した場合の所要時間は約1時間です（所要時間は、書き込み速度やシステム設定、使用するディスクにより変動します）。時間に余裕を持って作成してください。
- ●リカバリーディスクの作成を中断した場合、リカバリーディスク作成ユーティリティが終了するまでしばらく時間がかかります（約10分）。そのままお待ちください。リカバリーディスク作成ユーティリティが終了した後、Windowsを再起動し、最初からやり直して作成してください。
ディスクの書き込み中に中断すると、書き込み中のディスクは使用できなくなります。中断したディスクと同じ種類の未使用の新しいディスクを用意してください。
- ●作成したリカバリーディスクは大切に保管してください。
- ●作成したリカバリーディスクは本機専用です。他のパソコンで使用することはできません。
- ●リカバリーディスク作成中は次のことを行わないでください。リカバリーディスクが作成できなくなります。
  - • Windowsの終了や再起動
  - • スリープ状態 / 休止状態機能の使用
  - • CD/DVDドライブのドライブ文字の変更
  - • CF-J10シリーズをお使いの場合は、外付けDVDドライブの取り外し

1 ACアダプターを接続する。

CF-NX1/CF-J10シリーズ

- • 外付けDVDドライブ（別売り）を本機に接続してください。外付けDVDドライブは、バッファロー製USBポータブルDVDドライブ（品番：DVSM-PC58U2Vシリーズまたは DVSM-PS58U2シリーズ）のご使用をお勧めします。接続のしかたについては、外付けDVDドライブの説明書をご覧ください。

2 **管理者のユーザーアカウントでログオンする。**

ピークシフト制御ユーティリティでピークシフト制御を有効に設定している場合は、次の手順で無効にしてください。

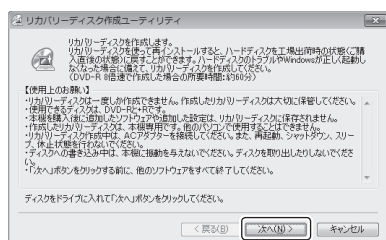
① 画面右下の通知領域の▲をクリックして をクリックする。

② ［ピークシフト制御を有効にする］をクリックしてチェックマークを外し、[OK] をクリックする。

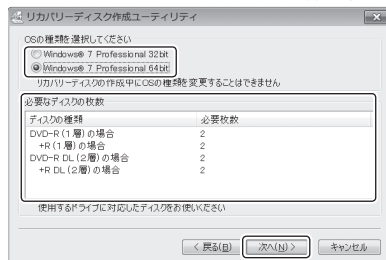
3 **未使用のディスクをセットする。**

4 **(スタート) - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [リカバリーディスク作成ユーティリティ]をクリックする。**

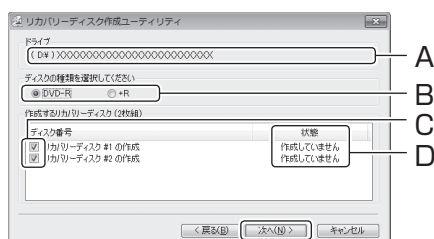
「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[はい]をクリックしてください。

5 **画面の注意事項をよく読み、[次へ]をクリックする。**

（画面は一例です）

6 **作成するOSの種類をクリックし、画面に表示されたディスクの必要枚数を準備して[次へ]をクリックする。**

32ビットと64ビット両方のリカバリーディスクを作成する場合は、どちらかのリカバリーディスクを作成した後、Windowsを再インストールする必要があります。再インストール後、同じ手順でもう一方のOSのリカバリーディスクを作成してください。

（画面は一例です）

- 選択したOSのリカバリーディスクが作成されます。

7 **作成するリカバリーディスクにチェックマークが付いていることを確認し、[次へ]をクリックする。**

（画面は一例です）

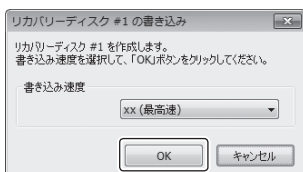
A：CF-NX1/CF-J10シリーズをお使いの場合は、リカバリーディスク作成に使用する外付けDVDドライブを選びます。

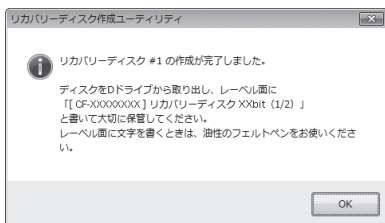
B：リカバリーディスク作成に使用するディスクの種類をクリックします。
ディスクの種類を間違うと、しばらくしてエラーメッセージが表示されます。

C：作成するリカバリーディスクの枚数分の項目が表示されます。
- リカバリーディスク作成ユーティリティを初めて起動したときは、すべての項目にチェックマークを付けたままにしてください。

D：作成途中で終了したときなどやり直す場合は、[状態]に現在の作成状況が表示されます。
- [完了しました]と表示されている場合：
該当のリカバリーディスクの作成が完了しています。
- [失敗の記録があります]と表示されている場合：
前回途中で終了したため、作成に失敗しています。最初からやり直してください。

リカバリーディスク作成の準備が始まります。そのままお待ちください。準備が終わると、「リカバリーディスク#1の書き込み」画面が表示されます。

❽ 書き込み速度を選び、[OK] をクリックする。

- ディスクの作成準備やディスクのチェックにそれぞれ10分～ 20分かかる場合があります。
- ディスクへの書き込みが始まり、作成しているディスクの番号と作成状況が画面に表示されます。そのままお待ちください。CD/DVD ドライブからディスクを取り出したり、パソコンに振動や衝撃を与えたりしないでください。
- 書き込みを中断したり、キャンセルしたりした場合は、同じ種類の未使用のディスクを使って再度作成してください。

❾ 「リカバリーディスク #1 の作成が完了しました」画面が表示されたら、リカバリーディスクを取り出し、レーベル面（データが書き込まれていない面）にディスクの名前や内容を書く。

- ボールペンなどペン先が硬いものは使わないでください。
- レーベルに記入する内容（一例）
  - ディスクの名前：リカバリーディスク
  - ディスクの番号（何枚中の何枚目）：「2枚中の1枚目」や「1/2枚」、「1枚中の1枚目」や「1/1枚」など、何番目のディスクかわかる内容を記入してください。必要枚数はモデルによって異なります。
  - 本機の品番：「リカバリーディスク #1 の作成が完了しました」画面 または本体底面に記載されている「CF-」で始まる文字（例：CF-SX1GDHYS など）

❿ [OK] をクリックする。

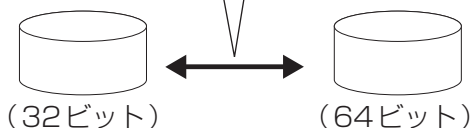
- ディスクのセットを促す画面が表示されたら、1枚目と同じ種類の未使用のディスクをセットして [OK] をクリックします。「リカバリーディスク #... の書き込み」画面で [OK] をクリックし、画面に従ってすべてのリカバリーディスクを作成してください。
  - 1枚目と異なる種類のディスクをセットすると、しばらくしてエラーメッセージが表示されます。1枚目と同じ種類のディスクを使用してください。
- 「すべてのリカバリーディスクの作成が完了しました」画面が表示された場合は、手順⓫に進んでください。（2枚目以降のディスクを作成する必要はありません）

⓫ 「すべてのリカバリーディスクの作成が完了しました」画面で、[OK] をクリックする。

これでリカバリーディスクの作成は終了です。作成したリカバリーディスクは大切に保管してください。

メモ

●手順❻で選択したOSのリカバリーディスクが作成されます。
32ビットと64ビットを切り替えるには、次の方法があります。

- ハードディスク内にあるリカバリー領域のデータを使って Windows を再インストールする。

- インストールするOSと同じOSのリカバリーディスクを使って Windows を再インストールする。

リカバリーディスクのQ&A

質　問	対　策
リカバリーディスク作成ユーティリティが起動しない	**管理者のユーザーアカウントでWindowsにログオンし直してください。** 標準ユーザーではリカバリーディスク作成ユーティリティを起動することができません。それでもリカバリーディスク作成ユーティリティが起動しない場合は、Windowsを再起動してください。
	別のユーザーがリカバリーディスク作成ユーティリティを起動している場合は、どちらかのユーザーがリカバリーディスク作成ユーティリティを終了してください。 リカバリーディスク作成ユーティリティは、複数のユーザーが同時に使用することはできません。
	ハードディスクの空き容量を確認してください。 リカバリーディスクを作成するには、ハードディスクに約10 GBの空き容量が必要です。
	「リカバリー領域の読み込みに失敗しました」というメッセージが表示された場合は、「エラーメッセージ一覧」をご覧ください。（➡16ページ） ハードディスク内にあるリカバリー領域が削除されていたり、ハードディスクに何らかの問題が発生している場合があります。
	リカバリーディスクの作成が完了している場合があります。 作成済みか確認するには、PC情報ビューアーを起動し、[PC使用状況]の[リカバリーディスク作成]をご覧ください。[作成済み]と表示されている場合は作成が完了しています。Windowsを再インストールするまでリカバリーディスク作成ユーティリティを使うことはできません。
リカバリーディスクの作成に失敗した	**動作確認済み（推奨）のディスクがセットされていることを確認してください。** 動作確認済み（推奨）のディスクについては、CF-SX1シリーズの場合はインターネットに接続できる環境で次のWebページにアクセスしてください。 http://askpc.panasonic.co.jp/work/disk/index.html CF-NX1/CF-J10シリーズの場合は、外付けDVDドライブの説明書をご覧ください。 推奨メーカー以外のディスクでは正常に書き込みや書き換え、読み出しなどができない場合があります。
	ディスクが正しくセットされているか確認してください。 • CF-SX1シリーズをお使いの場合は、ディスクの中心部をカチッと音がするまで押してしっかりとセットしてください。 • CF-NX1/CF-J10シリーズをお使いの場合は、外付けDVDドライブの説明書をご覧ください。
	レンズやディスクが汚れていたり、ディスクが変形したりしていないか確認してください。 • 汚れている場合は、レンズやディスクのクリーニングを行ってください。CD/DVDドライブ搭載モデルをお使いの場合は、『操作マニュアル』「（CD/DVDドライブ）」の「使用上のお願い」をご覧ください。 • 変形している場合は、新しいディスクに交換し、作成し直してください。

エラーメッセージ一覧

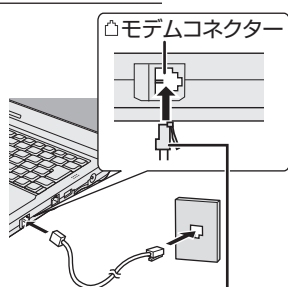
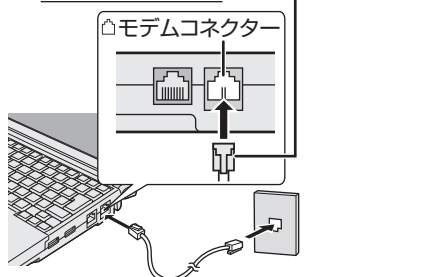
リカバリーディスク作成中にエラーメッセージが表示された場合は、各画面で[OK]をクリックし、対処の説明に従ってください。
それでも解決できない場合、または下記以外のメッセージが表示された場合は、ご相談窓口にご相談ください。

メッセージ	対 処
リカバリー領域の読み込みに失敗しました	ハードディスク内にあるリカバリー領域が削除されています。または、ハードディスクに何らかの問題が発生しています。 • Windowsを再起動し、再度リカバリーディスク作成ユーティリティを起動して作成してみてください。 再度エラーメッセージが表示される場合は、次の手順でリカバリー領域が削除されていないか確認してください。 リカバリー領域の確認方法 ① (スタート)をクリックし、[コンピューター]を右クリックする。 ② [管理]をクリックする。 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[はい]をクリックしてください。 ③ [ディスクの管理]をクリックし、[回復パーティション]が表示されていることを確認する。 1つ目の[回復パーティション]がリカバリー領域です。 回復パーティション | アクティブ、回復パーティション | (C:) 上記と異なるハードディスク構成の場合は、リカバリーディスクを作成することができません。 • ハードディスク内にリカバリー領域がある場合は、PC-Diagnosticユーティリティで[HDD xxxGB](ハードディスク)の診断を行ってください。(➡『取扱説明書 基本ガイド』「ハードウェアを診断する」)
イメージファイルの作成に失敗しました	ハードディスク内にあるリカバリー領域が壊れています。 • 上記の「リカバリー領域の確認方法」に従って、リカバリー領域を確認してください。
ディスクの書き込みに失敗しました	書き込みに失敗しています。 • ディスクの書き込み中に失敗した場合は、書き込み中のディスクは使用できなくなります。未使用の新しいディスクをセットしてください。 • ディスクの書き込み中は、CD/DVDドライブに振動を加えないでください。また、外付けDVDドライブを移動しないでください。
標準デュアル チャネル PCI IDE コントローラの取り外し中にエラーが発生しました	リカバリーディスクの作成中にディスクを取り出そうとした可能性があります。 • ディスクが正しくセットされていることを確認し、やり直してください。
ディスクの書き込み中にDVDドライブが取り外されました	リカバリーディスクの作成中にCD/DVDドライブのドライブ文字を変更した可能性があります。 または、外付けDVDドライブを取り外した可能性があります。

モデルごとのお知らせ

● **セットアップユーティリティについて**
本機のセットアップユーティリティには、以下の機能が追加されています。
- 累積使用時間の表示：「情報」メニューに10時間単位で表示されます。

モデム搭載モデルの場合

● **下図の位置にモデムコネクターが搭載されており、モジュラーケーブル（市販品）を接続することができます。**
内蔵モデムの使い方については、『内蔵モデムの使い方』をご覧ください。
（スタート）-[すべてのプログラム]-[Panasonic]-[オンラインマニュアル]-[内蔵モデムの使い方]をクリックすると表示されます。

● **セットアップユーティリティの「詳細」メニューおよびPC-Diagnosticユーティリティ（ハードウェアを診断するアプリケーションソフト）に[モデム]が表示されます。**
- セットアップユーティリティの「詳細」メニュー：内蔵モデムの機能を使用する（有効）/使用しない（無効）を設定することができます。
- PC-Diagnosticユーティリティ：内蔵モデムが正しく動作しない場合に診断することができます。

DVD-ROMドライブ搭載モデルの場合

『取扱説明書 基本ガイド』には、「CD/DVDにデータを書き込む」などが記載されていますが、本機ではCD/DVDにデータを書き込むことはできません。

ワイヤレスWAN搭載モデルの場合

● **本機に内蔵のワイヤレスWAN機能を使うには、事前にNTTドコモのFOMA® 回線契約が必要です。**
FOMA回線契約時には、本人確認書類の送付が必要になりますので、本機に付属の封筒と送付書をご利用ください。
NTTドコモのFOMA回線のお申し込みについては、付属の『取扱説明書 ワイヤレスWAN接続ガイド』および次のWebページをご覧ください。
http://www.hspc-docomo.net
（2012年1月1日現在）

フラッシュメモリードライブ搭載モデルの場合

ハードディスクドライブの代わりにフラッシュメモリードライブが取り付けられています（ハードディスクドライブは取り付けられていません）。
『取扱説明書 基本ガイド』や『操作マニュアル』などに記載の「ハードディスク」および「ハードディスクドライブ」を「フラッシュメモリードライブ」と読み替えてください。例えば、セットアップユーティリティの「セキュリティ」メニューに表示される「ハードディスク保護」はフラッシュメモリードライブのデータの読み書きを制限する機能を指します。
ただし、「ハードディスクドライブ搭載モデルのみ」と記載されている項目については、お使いいただけません。

メモ

● フラッシュメモリーの寿命を延ばすには、フラッシュメモリードライブへの書き込み回数を減らすことが有効な手段になります。Windows 7では、フラッシュメモリードライブが搭載されていることを認識し、自動デフラグを停止します。設定などを行う必要はありません。

モデルごとのお知らせ

CF-J10シリーズ
内蔵セキュリティチップ（TPM）を搭載したモデルの場合

● **内蔵セキュリティチップ（TPM）のインストール方法や使い方については、次の手順で『内蔵セキュリティチップ（TPM）ご利用の手引き』を表示してください。**

① デスクトップの 操作マニュアル をダブルクリックする。
② [操作マニュアル]-[（セキュリティ）]をクリックし、[データを保護・暗号化する]をクリックする。
③ 説明をよく読み、「内蔵セキュリティチップ（TPM）ご利用の手引き」を表示する。

● **セットアップユーティリティの「セキュリティ」メニューに[内蔵セキュリティ（TPM）]が表示され、次の項目を設定することができます。**
スーパーバイザーパスワードが設定されているときのみ設定できます。
- 設定サブメニュー保護：
ユーザーパスワードでセットアップユーティリティを起動したときに、[内蔵セキュリティ（TPM）]を表示する（保護しない）/表示しない（保護する）を設定します。工場出荷時の設定は[保護する]です。
- TPMの状態：
内蔵セキュリティチップ（TPM）を使用する（有効）/使用しない（無効）を設定します。工場出荷時の設定は[無効]です。
- 待機中のTPM操作：
[所有者情報の初期化]を選択すると、内蔵セキュリティチップ（TPM）内に保持された所有者情報を初期化し、内蔵セキュリティチップ（TPM）により保護されたデータを復元または利用できないようにします。本機を廃棄・譲渡する際に使用してください。
- 現在のTPMの状態：
現在のTPMの設定が表示されます。項目を選択したり変更したりすることはできません。

● **セキュリティ設定ユーティリティの[強化]に[TPM]が表示されます。**

● **モデルによっては、セットアップユーティリティの「詳細」メニューの[CPU設定]に[Intel(R) Trusted Execution Technology]が表示されます。**

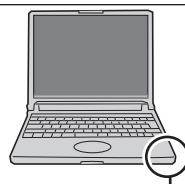
CF-J10シリーズ
インテル®のIEEE802.11a規格に対応していない無線LANを搭載したモデルの場合

● 『取扱説明書 基本ガイド』および『操作マニュアル』などに記載されているIEEE802.11aの有効/無効を切り替えたり、5 GHz帯で無線LANを使ったりすることはできません。
また、ケーブル接続なしでパソコンの画面を外部ディスプレイに表示するインテル® WiDiを使うこともできません。

Bluetoothについて
（Bluetooth搭載モデルのみ）

Bluetoothが搭載されているかどうかは「仕様」で確認してください。

重 要

● Bluetoothアンテナを経由して通信が行われます。
アンテナ部を手でふさぐなど、電波の妨げになるようなことはしないでください。

メ モ

● 通信速度や通信距離は、他のデバイスの通信送受信や設置する環境などの周辺条件によって異なります。
● 電波の性質上、通信距離が長くなるにしたがって通信速度が低下する傾向があります。Bluetooth対応の機器どうしは近い距離で使用することをお勧めします。
● 電子レンジなどを使用中に、通信速度が低下する場合があります。
● 無線 LANと同時に使用すると、通信速度が低下する場合があります。

Bluetoothの電源を切り替える

Bluetoothを使用する前にBluetoothの電源を入れてください。
『操作マニュアル』「（無線機能）」の「無線機能の電源を入れる/切る」をご覧ください。

メ モ

● 画面右下の通知領域の をクリックして （Bluetooth Manager）を右クリックし、[Bluetoothオフ]をクリックすると、Bluetoothの電源はオンのまま電波だけがオフになります。

重 要

● セットアップユーティリティの「詳細」メニューで、[無線設定]を選び Enter を押し、サブメニュー内の[Bluetooth]が[有効]に設定されていることを確認してください。
[無効]に設定していると、Bluetoothの電源を入れることはできません（初期設定は[有効]）。
（➡『取扱説明書 基本ガイド』の「セットアップユーティリティ」）
● IEEE802.11a規格対応の無線 LANを搭載したモデルをお使いの場合：
本機を屋外でお使いになる場合は、無線切り替えユーティリティを使って、あらかじめIEEE802.11aまたは無線 LAN機能を無効に設定してください。
無線 LANの5.2 GHz/5.3 GHz帯（W52/W53）を使って屋外で通信を行うことは、電波法で禁止されています。5.47 GHz ～ 5.725 GHzの周波数帯域（W56）の屋外での使用については電波法で禁止されていません。
無線 LAN機能およびIEEE802.11aを有効に設定していると、無線 LANを使うつもりがない場合でも、IEEE802.11aを使って通信が行われる場合があります。

IEEE802.11aまたは無線 LAN機能を無効に設定する方法

① 画面右下の通知領域の をクリックして または をクリックする。
② [802.11a 無効]または[無線 LAN オフ]をクリックする。

Bluetoothについて（Bluetooth搭載モデルのみ）

Bluetooth機器の登録、接続／切断

Bluetooth機器の登録方法や接続／切断の方法は、次の手順でBluetoothユーティリティユーザーズガイドをご覧ください。

(スタート) - [すべてのプログラム] - [Bluetooth] - [Bluetoothユーザーズガイド] をクリックする。
[Bluetoothユーティリティを使ってみよう] - [操作の流れ]をクリックし、画面をスクロールして[次へ]をクリックすると、「基本設定」の説明を見ることができます。

- 新しい接続の追加やBluetoothの設定、オプション機能の設定は、画面右下の通知領域の をクリックして （Bluetooth Manager）を右クリックし、各メニューをクリックしてください。
- パソコンの電源を入れた後､「自動登録」の画面が表示された場合は、画面の指示に従ってください。

メモ

- スリープまたは休止状態から復帰したとき、「TosBtMngは動作を停止しました」とメッセージが表示され、Bluetooth機器との接続が切断される場合があります。この場合は[プログラムの終了]をクリックした後、 (スタート) - [すべてのプログラム] - [Bluetooth] - [Bluetooth設定]をクリックして「Bluetooth設定」画面で接続し直してください。

無線機能の電源状態を確認する

1 画面右下の通知領域の をクリックして または にポインターを合わせる。

搭載されている無線機能の電源の状態などが表示されます。

BluetoothのQ&A

Bluetoothが使えない	ユーザーの簡易切り替え機能を使って別のユーザーに切り替えると、Bluetoothが使えない場合があります。その場合は、簡易切り替え機能を使わずに、すべてのユーザーをログオフした後、再度ログオンして操作してください。それでも正しく動作しない場合は、本機を再起動してください。
Bluetoothマウス使用後、ホイールパッドでポインターを操作できない	(スタート)-[コントロールパネル]-[ハードウェアとサウンド]-[マウス]-[デバイス設定]をクリックすると表示される画面で、[USBマウス接続時に内蔵ポインティングデバイスを無効にする]にチェックマークを付けていると、Bluetoothマウスが使用圏外に離れている状態でもマウスとして認識されたままになることがあります。その場合は、ホイールパッドが無効のままになります。ホイールパッドをお使いになる場合は、[USBマウス接続時に内蔵ポインティングデバイスを無効にする]のチェックマークを外してください。

- **Bluetoothが正しく動作しない場合は、PC-Diagnosticユーティリティを使って、正常に動作しているかを診断することができます。（➡『取扱説明書 基本ガイド』「ハードウェアを診断する」）Bluetoothがグレー表示になり診断できない場合は、無線切り替えスイッチが右側（ON側）になっていることを確認してください。左側（OFF側）になっている場合は、パソコンの電源を切り、無線切り替えスイッチを右側（ON側）にスライドしてください。その後、パソコンの電源を入れて診断をしてください。**

別売り商品

品　名	ご注文時の品番	対応機種（シリーズ）※1		
		CF-SX1	CF-NX1	CF-J10
ACアダプター（電源コード付き）	CF-AA6402AJS	−	−	○
	CF-AA6412CJS	○	○	−
ミニACアダプター（電源コード付き）	CF-AAA001AS	○	○	−
バッテリーパック※2	CF-VZSU75JS（バッテリーパック（S）：公称容量6800 mAh）	○	○	−
	CF-VZSU76JS（バッテリーパック（L）：公称容量13600 mAh）	○	○	−
	CF-VZSU67JS（バッテリーパック（S）：公称容量6200 mAh）	−	−	○
	CF-VZSU68JS（バッテリーパック（L）：公称容量9300 mAh）	−	−	○
RAMモジュール	CF-BAD02GU（2 GB※3）	−	−	○
	CF-BAD04GU（4 GB※3）	−	−	○
	CF-BAX04GU（4 GB※3）	○	○	−
ジャケット（シフォンホワイト）※2	CF-VNJ001U	−	−	○※4
ジャケット（パンサーブラック）※2	CF-VNJ002U	−	−	○※4

別売り商品の名称と品番は最新のカタログでご確認ください。仕様改善のため、予告なく変更することがあります。

※1 表中の記号は次のとおりです。

○：対応（本機の付属品（➡2ページ）の品番や容量なども合わせてご確認ください。）

−：非対応

※2 消耗品

※3 1 MB =1,048,576バイト、1GB =1,073,741,824バイト

※4 色によって品番が異なります。ご注文の際は、必ず色をご確認のうえ、品番を間違えずにご注文ください。

パナソニックグループのショッピングサイト「My Let's 倶楽部」でもお買い求めいただけるものもあります。詳しくは「My Let's 倶楽部」のWebページ（http://club.panasonic.jp/mall/mylets/open/）をご確認ください。

CD/DVDドライブを搭載していないモデルをお使いの場合

動作確認済みの外付けDVDドライブについては、インターネットに接続できる環境で次のWebページにアクセスしてください。
http://askpc.panasonic.co.jp/work/drive/

仕様 日本国内専用

●CF-SX1 シリーズ本体仕様

<table>
<tr><th>品番</th><th>CF-SX1GDHYS</th><th>CF-SX1GDRYS</th><th>CF-SX1GVRYS</th><th>CF-SX1GWJYS</th></tr>
<tr><td rowspan="3">CPU</td><td colspan="4">インテル® vPro™ テクノロジー採用</td></tr>
<tr><td colspan="3">インテル® Core™ i5-2540M vPro™ プロセッサー</td><td>インテル® Core™ i5-2520M vPro™ プロセッサー</td></tr>
<tr><td colspan="3">（インテル® スマートキャッシュ 3 MB※1、動作周波数2.60 GHz、インテル® ターボ・ブースト・テクノロジー 2.0利用時は最大3.30 GHz）</td><td>（インテル® スマートキャッシュ 3 MB※1、動作周波数2.50 GHz、インテル® ターボ・ブースト・テクノロジー 2.0 利用時は最大3.20 GHz）</td></tr>
<tr><td>ビデオメモリー</td><td colspan="4">最大1556 MB※1（メインメモリーと共用）※2</td></tr>
<tr><td>ハードディスク
ドライブ※3
または
フラッシュメモリー
ドライブ※3</td><td>ハードディスクドライブ：
250 GB（Serial ATA）
上記容量のうち約15 GBをリカバリー領域、約300 MBをシステム領域として使用（ユーザー使用不可）</td><td colspan="2">フラッシュメモリードライブ：128 GB（Serial ATA）
上記容量のうち約15 GBをリカバリー領域、約300 MBをシステム領域として使用（ユーザー使用不可）</td><td>ハードディスクドライブ：
250 GB（Serial ATA）
上記容量のうち約15 GBをリカバリー領域、約300 MBをシステム領域として使用（ユーザー使用不可）</td></tr>
<tr><td>表示方式</td><td colspan="3" rowspan="4">CF-SX1GEADRと同じ
（➡『取扱説明書 基本ガイド』「仕様」）</td><td>11.6型ワイド（16:9）
TFTカラー液晶 WXGA（1366×768ドット）</td></tr>
<tr><td>内部LCD表示</td><td>1366×768ドット：
約1677万色※4</td></tr>
<tr><td>外部ディスプレイ表示※5</td><td>800×600ドット、
1024×768ドット、
1280×720ドット、
1280×768ドット、
1280×1024ドット、
1360×768ドット、
1366×768ドット、
1400×1050ドット、
1600×900ドット、
1600×1200ドット、
1680×1050ドット、
1920×1080ドット、
1920×1200ドット：
約1677万色</td></tr>
<tr><td>本体＋外部ディスプレイ表示※5</td><td>800×600ドット、
1024×768ドット、
1280×720ドット、
1280×768ドット、
1360×768ドット、
1366×768ドット：
約1677万色※4</td></tr>
<tr><td>無線LAN/WiMAX</td><td colspan="2">インテル® Centrino® Advanced-N 6205
無線LAN：IEEE802.11a（W52/W53/W56）/b/g/n準拠
（➡『取扱説明書 基本ガイド』「仕様」）
（WiMAXは搭載されていません）</td><td>CF-SX1GEADRと同じ
（➡『取扱説明書 基本ガイド』「仕様」）</td><td>インテル® Centrino® Advanced-N 6205
無線LAN：IEEE802.11a（W52/W53/W56）/b/g/n準拠
（➡『取扱説明書 基本ガイド』「仕様」）
（WiMAXは搭載されていません）</td></tr>
<tr><td>ワイヤレスWAN</td><td colspan="2">搭載されていません</td><td>搭載（➡付属の『取扱説明書 ワイヤレスWAN接続ガイド』）</td><td>搭載されていません</td></tr>
<tr><td>Bluetooth</td><td colspan="3" rowspan="2">CF-SX1GEADRと同じ
（➡『取扱説明書 基本ガイド』「仕様」）</td><td rowspan="2">搭載されていません</td></tr>
<tr><td>カメラ</td></tr>
</table>

品番		CF-SX1GDHYS	CF-SX1GDRYS	CF-SX1GVRYS	CF-SX1GWJYS
バッテリーパック		7.2 V（リチウムイオン）、公称容量13600 mAh/ 定格容量12800 mAh			7.2 V（リチウムイオン）、公称容量6800 mAh/定格容量6400 mAh
バッテリー駆動時間※6		約16時間（バッテリーのエコノミーモード（ECO）無効時）	約17時間（バッテリーのエコノミーモード（ECO）無効時）	約15時間（バッテリーのエコノミーモード（ECO）無効時）	約8時間（バッテリーのエコノミーモード（ECO）無効時）
バッテリー充電時間※7		約5時間（電源オン状態）/約4時間（電源オフ状態）			約3時間（電源オン状態）/約2.5時間（電源オフ状態）
質量※8	パソコン本体	約1.4 kg（付属のバッテリーパック（約0.43 kg）装着時）	約1.34 kg（付属のバッテリーパック（約0.43 kg）装着時）	約1.37 kg（付属のバッテリーパック（約0.43 kg）装着時）	約1.23 kg（付属のバッテリーパック（約0.22 kg）装着時）
OS	ベースOS	CF-SX1GEADRと同じ（➡『取扱説明書 基本ガイド』「仕様」）			
	インストールOS	Windows® 7 Professional 32ビット正規版（日本語版） （Windows XP Mode搭載）			
導入済みソフトウェア		Microsoft® Internet Explorer 9.0、ネットセレクター3、無線切り替えユーティリティ、Infineon TPM Professional Package V3.7※9、Adobe Reader、バッテリー残量表示補正ユーティリティ、ホイールパッドユーティリティ、Hotkey設定、電源プラン拡張ユーティリティ、ピークシフト制御ユーティリティ、Microsoft® Windows® Media Player 12、CyberLink PowerDVD 10※10、プロジェクターヘルパー、インテル® WiDiソフトウェア、クイックブートマネージャー、オプティカルディスクドライブ文字変更ユーティリティ、PC情報ポップアップ、PC情報ビューアー、Aptioセットアップユーティリティ、PC-Diagnosticユーティリティ※11、ハードディスクデータ消去ユーティリティ※12、DirectX 11※13、Microsoft®. NET Framework 3.5.1、インテル® PROSet/Wireless Software、インテル® My WiFiテクノロジー、画面分割ユーティリティ、Dashboard for Panasonic PC、USB充電設定ユーティリティ、リカバリーディスク作成ユーティリティ、Roxio Creator LJB（MyDVD 含む）※14、インテル® アイデンティティー・プロテクション・テクノロジー（インテル® IPT）、VIP Access for Desktop			
		カメラユーティリティ、Bluetooth Stack for Windows by TOSHIBA			
				ワイヤレスWAN拡張機能設定ユーティリティ、ドコモ コネクションマネージャ	
		下記のソフトウェアをお使いになる場合は、セットアップが必要です。次の手順を行った後、画面の指示に従ってください。 • セキュリティ設定ユーティリティ：「C:¥util¥secutil」フォルダー内の[setup]を右クリックし、[管理者として実行]をクリックします。 • 「i-フィルター 6.0」30日間無料お試し版：デスクトップの「有害サイトから守るiフィルターのセットアップ」をダブルクリックします。 • NumLockお知らせ：「C:¥util¥numlkntf」フォルダー内の[setup]を右クリックし、[管理者として実行]をクリックします。テンキーモードに設定されていても、Panasonic Notificationがインストールされていない場合は、Windowsのログオン画面で「NumLockお知らせ」画面は表示されません。 • Fn Ctrl機能入れ換えユーティリティ：「C:¥util¥setfnctrl」フォルダー内の[setup]を右クリックし、[管理者として実行]をクリックします。 • USBキーボードヘルパー：「C:¥util¥ukbhelp」フォルダー内の[setup]を右クリックし、[管理者として実行]をクリックします。Panasonic Notificationがインストールされていない場合は、WindowsのログオンUSBキーボードヘルパーは動作しません。 • ディスプレイヘルパー：「C:¥util¥disphelp」フォルダー内の[setup]を右クリックし、[管理者として実行]をクリックします。 • Wireless Manager mobile edition 5.5※15：デスクトップの「Wireless Manager mobile editionのセットアップ」をダブルクリックします。 • ズームビューアー：「C:¥util¥loupe」フォルダー内の[setup]を右クリックし、[管理者として実行]をクリックします。 • ぴったりビュー：「C:¥util¥optiview」フォルダー内の[setup]を右クリックし、[管理者として実行]をクリックします。 • Windows XP Mode：（スタート）-[すべてのプログラム]-[Windows Virtual PC]-[Windows XP Mode]をクリックします。※16 詳しくは、『操作マニュアル』「（アプリケーションソフト）」の「Windows XP Mode」をご覧ください。			
上記以外		CF-SX1GEADRと同じ（➡『取扱説明書 基本ガイド』「仕様」）			

仕様

●CF-NX1 シリーズ本体仕様

品番	CF-NX1GDHYS CF-NX1GDEYS	CF-NX1GVRYS	CF-NX1GWGYS	CF-NX1VWJYS
CPU	インテル® vPro™ テクノロジー採用			インテル® Core™ i3-2350M プロセッサー
	CF-NX1GEADRと同じ (➡『取扱説明書 基本ガイド』「仕様」)		インテル® Core™ i5-2520M vPro™ プロセッサー	
チップセット	モバイルインテル® QM67 Expressチップセット			モバイルインテル® HM65 Expressチップセット
ハードディスクドライブ※3 または フラッシュメモリードライブ※3	ハードディスク： 250 GB(Serial ATA) 上記容量のうち約15 GBをリカバリー領域、約300 MBをシステム領域として使用(ユーザー使用不可)	フラッシュメモリー： 128 GB(Serial ATA) 上記容量のうち約15 GBをリカバリー領域、約300 MBをシステム領域として使用(ユーザー使用不可)	ハードディスク：250 GB(Serial ATA) 上記容量のうち約15 GBをリカバリー領域、約300 MBをシステム領域として使用(ユーザー使用不可)	
表示方式	CF-NX1GEADRと同じ (➡『取扱説明書 基本ガイド』「仕様」)			11.6型ワイド(16:9) TFTカラー液晶 WXGA (1366×768ドット)
内部LCD表示				1366×768ドット：約1677万色※4
外部ディスプレイ表示※5				800×600ドット、1024×768ドット、1280×720ドット、1280×768ドット、1280×1024ドット、1360×768ドット、1366×768ドット、1400×1050ドット、1600×900ドット、1600×1200ドット、1680×1050ドット、1920×1080ドット、1920×1200ドット：約1677万色
本体＋外部ディスプレイ同時表示※5				800×600ドット、1024×768ドット、1280×720ドット、1280×768ドット、1360×768ドット、1366×768ドット：約1677万色※4
無線LAN/WiMAX	インテル® Centrino® Advanced-N 6205 無線LAN：IEEE802.11a(W52/W53/W56)/b/g/n準拠 (➡『取扱説明書 基本ガイド』「仕様」) (WiMAXは搭載されていません)	CF-NX1GEADRと同じ (➡『取扱説明書 基本ガイド』「仕様」)	インテル® Centrino® Advanced-N 6205 無線LAN：IEEE802.11a(W52/W53/W56)/b/g/n準拠 (➡『取扱説明書 基本ガイド』「仕様」) (WiMAXは搭載されていません)	
ワイヤレスWAN	搭載されていません	搭載(➡付属の『取扱説明書 ワイヤレスWAN接続ガイド』)	搭載されていません	
Bluetooth	CF-NX1GEADRと同じ (➡『取扱説明書 基本ガイド』「仕様」)			

品番		CF-NX1GDHYS CF-NX1GDEYS	CF-NX1GVRYS	CF-NX1GWGYS	CF-NX1VWJYS
モデム※18		データ：56 kbps（V.90） FAX：14.4 kbps/ボイス非対応			
カメラ		CF-NX1GEADRと同じ （➡『取扱説明書　基本ガイド』「仕様」）		搭載されていません	
指紋センサー		CF-NX1GDHYS • 搭載されていません CF-NX1GDEYS • 搭載（スライド方式） （➡付属の『取扱説明書 指紋認証の使い方』）	搭載されていません		
バッテリーパック		7.2 V（リチウムイオン）、公称容量13600 mAh/定格容量 12800 mAh		7.2 V（リチウムイオン）、公称容量 6800 mAh/定格容量 6400 mAh	
バッテリー駆動時間※6		約16時間（バッテリーのエコノミーモード（ECO）無効時）	約15時間（バッテリーのエコノミーモード（ECO）無効時）	約8時間（バッテリーのエコノミーモード（ECO）無効時）	
バッテリー充電時間※7		約5時間（電源オン状態）/約4時間（電源オフ状態）		約3時間（電源オン状態）/約2.5時間（電源オフ状態）	
質量※8	パソコン本体	約1.35 kg（付属のバッテリーパック（約0.43 kg）装着時）	約1.31 kg（付属のバッテリーパック（約0.43 kg）装着時）	約1.13 kg（付属のバッテリーパック（約0.22 kg）装着時）	約1.18 kg（付属のバッテリーパック（約0.22 kg）装着時）
OS	ベースOS	Windows® 7 Professional 32ビット 正規版（Service Pack 1 適用済み）（日本語版）/ Windows® 7 Professional 64ビット 正規版（Service Pack 1 適用済み）（日本語版） （Windows XP Mode搭載）			
	インストールOS	Windows® 7 Professional 32ビット 正規版（Service Pack 1 適用済み）（日本語版） （Windows XP Mode搭載）			
導入済みソフトウェア		Microsoft® Internet Explorer 9.0、ネットセレクター 3、無線切り替えユーティリティ、Adobe Reader、バッテリー残量表示補正ユーティリティ、ホイールパッドユーティリティ、Hotkey設定、電源プラン拡張ユーティリティ、ピークシフト制御ユーティリティ、Microsoft® Windows® Media Player 12、プロジェクターヘルパー、インテル® WiDiソフトウェア、クイックブートマネージャー、PC情報ポップアップ、PC情報ビューアー、Aptioセットアップユーティリティ、PC-Diagnostic ユーティリティ※11、ハードディスクデータ消去ユーティリティ※12、DirectX 11※13、Microsoft® .NET Framework 3.5.1、インテル® PROSet/Wireless Software、インテル® My WiFi テクノロジー、インテル® アイデンティティー・プロテクション・テクノロジー（インテル® IPT）、VIP Access for Desktop、画面分割ユーティリティ、Dashboard for Panasonic PC、USB充電設定ユーティリティ、リカバリーディスク作成ユーティリティ			
		カメラユーティリティ、Bluetooth Stack for Windows by TOSHIBA			
		Infineon TPM Professional Package V3.7※9			
		●CF-NX1GDEYSのみ 指紋認証ユーティリティ（Protector Suite 2009）	ワイヤレスWAN拡張機能設定ユーティリティ、ドコモ コネクションマネージャ		
		下記のソフトウェアをお使いになる場合は、セットアップが必要です。セットアップの手順については、CF-SX1シリーズをご覧ください。（➡23ページ） • セキュリティ設定ユーティリティ • 「i-フィルター 6.0」30日間無料お試し版 • NumLockお知らせ • Fn Ctrl機能入れ換えユーティリティ • USB キーボードヘルパー • ディスプレイヘルパー • Wireless Manager mobile edition 5.5※15 • ズームビューアー • ぴったりビュー • Windows XP Mode※16			
上記以外		CF-NX1GEADRと同じ（➡『取扱説明書 基本ガイド』「仕様」）			

仕様

●CF-J10 シリーズ本体仕様

品番		CF-J10VWHDS
無線 LAN/WiMAX		IEEE802.11b/g/n準拠※17（➡27ページ） （WiMAXは搭載されていません）
ワイヤレスWAN		搭載されていません
モデム※18		データ：56 kbps（V.90） FAX：14.4 kbps/ボイス非対応
セキュリティチップ		TPM（TCG V1.2準拠）※19
質量※8	パソコン本体	約 0.990 kg（付属のバッテリーパック（S）（約 0.23 kg）装着時）
	ACアダプター	約 0.2 kg（電源コード（約 0.06 kg）除く）
OS	ベースOS	Windows® 7 Professional 32ビット 正規版（Service Pack 1 適用済み）（日本語版）/ Windows® 7 Professional 64ビット 正規版（Service Pack 1 適用済み）（日本語版） （Windows XP Mode搭載）
	インストールOS	Windows® 7 Professional 32ビット正規版（日本語版） （Windows XP Mode搭載）
導入済みソフトウェア		Microsoft® Internet Explorer 9.0、ネットセレクター3、無線切り替えユーティリティ、Infineon TPM Professional Package V3.7※9、Adobe Reader、バッテリー残量表示補正ユーティリティ、ホイールパッドユーティリティ、Hotkey設定、電源プラン拡張ユーティリティ、ピークシフト制御ユーティリティ、Microsoft® Windows® Media Player 12、プロジェクターヘルパー、インテル® WiDiソフトウェア、クイックブートマネージャー、PC情報ポップアップ、PC情報ビューアー、Aptioセットアップユーティリティ、PC-Diagnostic ユーティリティ※11、ハードディスクデータ消去ユーティリティ※12、DirectX 11※13、Microsoft® .NET Framework 3.5.1、インテル® PROSet/Wireless Software、インテル® My WiFi テクノロジー、インテル® アイデンティティー・プロテクション・テクノロジー（インテル® IPT）、VIP Access for Desktop、画面分割ユーティリティ、Dashboard for Panasonic PC、USB充電設定ユーティリティ、リカバリーディスク作成ユーティリティ
		下記のソフトウェアをお使いになる場合は、セットアップが必要です。セットアップの手順については、CF-SX1 シリーズをご覧ください。（➡23ページ） • セキュリティ設定ユーティリティ •「i-フィルター 6.0」30日間無料お試し版 • NumLockお知らせ • Fn Ctrl機能入れ換えユーティリティ • USB キーボードヘルパー • ディスプレイヘルパー • Wireless Manager mobile edition 5.5※15 • ズームビューアー • ぴったりビュー • Windows XP Mode※16
上記以外		CF-J10VYAHRと同じ（➡『取扱説明書 基本ガイド』「仕様」）

※1 1 MB＝1,048,576バイト。1 GB＝1,073,741,824バイト。

※2 本機の動作状況により、メインメモリーの一部が自動的に割り当てられます。サイズを設定しておくことはできません。ビデオメモリーのサイズはOSにより割り当てられます。
Windows 7（64ビット）では、最大1696 MBになります。

※3 1 MB＝1,000,000バイト。1 GB＝1,000,000,000バイト。OSまたは一部のアプリケーションソフトでは、これよりも小さな数値でGB表示される場合があります。

※4 グラフィックアクセラレーターのディザリング機能を使用して約1677万色表示を実現しています。

※5 パソコン本体の外部ディスプレイコネクターは、パソコン用外部ディスプレイを接続するためのコネクターです。選択可能な解像度は、外部ディスプレイによって異なります。外部ディスプレイによっては、選択可能であっても正しく表示できない解像度があります。また、家庭用のテレビを外部ディスプレイとしてお使いの場合は、テレビに付属の取扱説明書で対応解像度をご確認ください。HDMI対応ディスプレイを接続した場合、出力可能な最大解像度などの表示スペックは、接続機器の仕様により異なります。詳しくは接続機器の仕様をご確認ください。

※6 「JEITAバッテリ動作時間測定法（Ver.1.0）」による駆動時間。バッテリー駆動時間は動作環境・液晶の輝度・システム設定により変動します。バッテリーのエコノミーモード（ECO）有効に設定しているときの駆動時間は、無効時の約8割になります。

※7 バッテリーのエコノミーモード（ECO）有効（電源オン/オフ）時の充電時間は約5.5時間。バッテリー充電時間は動作環境・システム設定により変動します。完全放電したバッテリーを充電すると時間がかかる場合があります。

※8 平均値。各製品で質量が異なる場合があります。

※9 お使いになるにはセットアップが必要です（➡『操作マニュアル』「（セキュリティ）」の「データを保護・暗号化する」）。

※10 CPRMで録画されたメディア（DVD-RAM、DVD-R、DVD-R DLおよびDVD-RW）を再生する場合は、インターネットに接続できる環境が必要です。一度インターネットに接続すると、自動的に認証されて再生できるようになります（➡『操作マニュアル』「（CD/DVD ドライブ）」の「DVD-Videoを見る」）。DVD-Audioの再生には対応していません。
CF-SX1 シリーズに搭載のPowerDVDは一部の機能が制限されています。

※11 起動方法は『取扱説明書 基本ガイド』の「ハードウェアを診断する」をご覧ください。この機能には（株）ウルトラエックスの技術を使用しています。

※12 修復用領域上で実行するユーティリティ（実行できない場合は、リカバリーディスクから実行してください）。

※13 本機のグラフィックアクセラレーターはDirectX 10.1まで対応しています。

※14 CF-SX1シリーズに搭載のRoxio Creator LJB（MyDVD含む）は一部の機能が制限されています。

※15 ワイヤレス投写用アプリケーションソフト（当社製プロジェクター TH-LB20NT/TH-LB30NT/TH-LB50NT/TH-LB55NT/TH-LB60NT/PT-FW100NT/PT-F100NT/PT-F200NT/PT-F300NT/PT-FW300NT/PT-LB51NT/PT-LB75NT/PT-LB80NT/PT-LB90NT/PT-LW80NT/PT-DZ570/PT-DW530/PT-DX500/PT-F300/PT-FW300/PT-FW430/PT-FX400と無線LAN接続または有線LAN接続するときに使います）。
PT-DZ570/PT-DW530/PT-DX500/PT-FW430/PT-FX400は別途ワイヤレスモジュール（別売り）が必要です。
無線LAN接続する場合、内蔵の無線LANで接続できます。
詳しくは『操作マニュアル』「（周辺機器）」の「プロジェクターを使う」をご覧ください。

※16 アプリケーションソフトの動作環境やWindows 7への対応状況については、アプリケーションソフトのメーカーにお問い合わせください。
Windows XP Modeは、Windows XPが持つすべての機能や性能を保証するものではありません。

※17 IEEE802.11aを使用して本機と通信するには、W52/W53/W56のいずれかに対応した無線LANアクセスポイントをお使いください。IEEE802.11n準拠モードで通信するには、本モードに対応した無線LANアクセスポイントが必要です。また、本機および無線LANアクセスポイントの暗号化設定をAESに設定する必要があります。詳しくは無線LANアクセスポイントのメーカーにお問い合わせください。

※18 モデムは一般電話回線専用です。56 kbpsはデータ受信時の理論値です。データ送信時は33.6 kbpsが最大速度です。

※19 お使いになるにはInfineon TPM Professional Packageをセットアップする必要があります
（➡『操作マニュアル』「（セキュリティ）」の「データを保護・暗号化する」）。

- フラッシュメモリードライブ搭載モデルの場合は、PC情報ポップアップのハードディスクの使い方に関する情報を表示する機能は使えません。
- インテル® アクティブ・マネジメント・テクノロジー（インテル® AMT）の機能をお使いになるには、セットアップユーティリティの[AMT設定]で設定が必要です。また、別途管理アプリケーションソフトが必要になります。
インテル® アンチセフト・テクノロジーおよびインテル® IPTをお使いになる場合は、サービス事業者が提供する専用ソリューションが必要です。

Windows XP Professionalへのダウングレード権について
Windows 7 ProfessionalはMicrosoft社よりWindows XP Professionalへのダウングレード権が与えられています。Windows XPにダウングレードするには、Windows XP Professionalのインストールメディアが必要になります。（本機のWindows 7 Professionalは、Windows XP Modeを使うことができ、Windows 7上でWindows XPを実行することができます。）

●無線LAN

- **CF-J10シリーズをお使いの場合は下記をご覧ください。**

項目		仕様
データ転送速度（規格値）※20		IEEE802.11b：11/5.5/2/1 Mbps IEEE802.11g：54/48/36/24/18/12/9/6 Mbps IEEE802.11n 20MHz時：6/13/19/26/39/52/58/65 Mbps 40MHz時：13/27/40/54/81/108/121/135 Mbps 40MHz、Short GI有効時：15/30/45/60/90/120/135/150 Mbps
準拠規格		ARIB STD-T66 IEEE802.11b、IEEE802.11g、IEEE802.11n※21（無線LAN標準プロトコル）
伝送方式		OFDM方式、DS SS方式
有効距離※22		IEEE802.11b/g/n：見通し約50 m（アクセスポイントとの通信時）
使用無線チャンネル	インフラストラクチャ通信モード	IEEE802.11b/g/n：1～13チャンネル
	ad hoc通信モード	IEEE802.11b/g：1～11チャンネル
RF周波数帯域		2.4 GHz帯域（2.4 GHz～2.4835 GHz）

※20 無線LAN規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。
表示の数値は、本機と同等の構成を持った機器と通信を行ったときの理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。

※21 IEEE802.11n準拠の表記は、他のIEEE802.11n対応製品との接続性を保証するものではありません。

※22 有効距離は、電波環境、障害物、設置環境などの周囲条件や、アプリケーションソフト、OSなどの使用条件によって異なります。

仕様

●Bluetooth（Bluetooth 搭載モデルのみ）

規格	Bluetooth 仕様 V2.1 + EDR	
転送速度	1 Mbps ～ 3 Mbps（規定値）	
伝送方式	FHSS 方式	
使用無線チャンネル	1 ～ 79 チャンネル	
RF 周波数帯域	2.402 GHz ～ 2.48 GHz	
対応プロファイル	• A2DP（Sink および Source） • BIP（ImagePush および RemCam） • FAX（DT） • HFP（AG） • HSP（AG） • OPP（Client および Server） • SPP（DevA および DevB）	• AVRCP（Target） • DUN（DT） • FTP（Client および Server） • HCRP（Client） • HID（Host） • PAN（Group および User） • HDP

●モデムは次の国または地域の規格に準拠しています（モデム搭載モデルのみ）。
アイスランド、アイルランド、アメリカ、アラブ首長国連邦、アルゼンチン、アンドラ、イギリス、イスラエル、イタリア、インド、インドネシア、ウクライナ、ウルグアイ、エクアドル、エストニア、エジプト、オーストラリア、オーストリア、オランダ、カナダ、韓国、キプロス、ギリシャ、クウェート、クロアチア、サウジアラビア、サンマリノ、シンガポール、スイス、スウェーデン、スペイン、スリランカ、スロバキア、スロベニア、台湾、チェコ、チリ、中国、デンマーク、ドイツ、トルコ、日本、ニュージーランド、ノルウェー、パキスタン、バチカン市国、パラグアイ、ハンガリー、フィリピン、フィンランド、ブラジル、フランス、ブルガリア、ブルネイ、ペルー、ベルギー、ベネズエラ、ポーランド、ポルトガル、ホンジュラス、香港、マルタ、マレーシア、南アフリカ共和国、モナコ、モロッコ、ラトビア、リトアニア、リヒテンシュタイン、ルーマニア、ルクセンブルク、ロシア

（2012年1月1日現在）

保証とアフターサービス（よくお読みください）

使い方・お手入れ・修理などは…

■まず、お買い上げの販売店へ ご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	
電　話	（　　　）　　－
お買い上げ日	年　月　日

●海外での使用について

本製品は日本国内仕様であり、海外の規格などには準拠しておりません。海外での使用について、当社では一切責任を負いかねます。
また、当社では本製品に関する海外でのアフターサービスおよび消耗品、別売り品の供給は行っておりません。

This product cannot be used in foreign country as designed for Japan only.

修理を依頼されるときは…

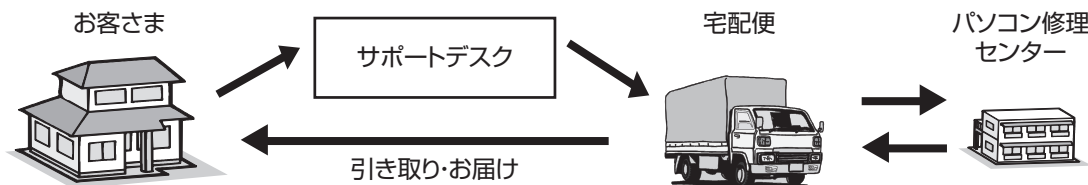
『取扱説明書 基本ガイド』の「困ったとき」および画面で見る『困ったときのQ&A』に従ってご確認の後、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、サポートデスクへご連絡ください。

付属の『修理依頼書』に依頼内容をご記入のうえ、修理されるパソコンに添付してください。
『修理依頼書』がない場合はお買い上げ日と次の内容をご連絡ください。

- ●製品名　パーソナルコンピューター
- ●品　番　CF-
- ●故障の内容（できるだけ具体的に）
- ●ハードディスク内のデータのバックアップおよびそのデータの消去状況
- ●ハードディスクの初期化への同意
- ●有償修理のお客さまへ（無料修理のお客さまは不要です）：修理限度額の有無
- ●WiMAX搭載モデルをお使いのお客さまへ：WiMAXのご契約状況とWiMAX通信サービス提供会社さまへの連絡状況

Windows XPダウングレード済みモデルで、修理のためにハードディスクの初期化が必要になった場合は、Windows XPダウングレードサービス済みの状態になります。あらかじめご了承ください。
本製品は引き取り修理サービスを実施しております。

引き取り修理サービスとは

修理時に、当社指定の宅配業者が専用梱包箱を持ってパソコン修理品の引き取りにお伺いし、修理が完了した後、直ちに宅配業者がお届けする、早くて便利な修理サービスです。

●保証期間中は、保証書の規定に従って修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品と保証書をご準備いただき、サポートデスクにご相談ください。また、引き取り修理の送料は当社が負担させていただきます。
また、出張修理（オンサイト）サービスもご希望により有料で対応可能です。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間 [ただし、バッテリーパックは消耗品ですので保証期間内でも「有料」とさせていただきます。]

保証とアフターサービス（よくお読みください）

●**保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。また、引き取り修理の送料はお客さまのご負担となります。**

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
送　料	修理品を引き取り、またはお届けする費用
出張料	技術者を派遣する費用

※**補修用性能部品の保有期間** 6年

当社は、このパーソナルコンピューターの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後6年保有しています。

■転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください

ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

●使い方・お手入れなどのご相談は…

パナソニックパソコンお客様ご相談センター　365日 受付9時～20時

電　話　フリーダイヤル　**0120-873029**（パナソニック）

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。
※発信者番号通知のご協力をお願いいたします。
非通知に設定されている場合は「186-0120-873029」におかけください（はじめに「186」をダイヤル）。
• 上記電話番号がご利用いただけない場合（発信者番号を非通知でお電話いただく場合を含む）は
(06)6905-5067

ＦＡＸ　**(06)6905-5079**

365日／受付9時～20時
（パソコン製品の使い方や技術的なご質問も承っております。）

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

●修理に関するご相談は…………………

サポートデスク

電　話　フリーダイヤル　**0120-05-8729**
フリーダイヤルがご利用できない場合は
011-330-1911

ＦＡＸ　ナビダイヤル（全国共通番号）　**0570-00-8742**
ナビダイヤルがご利用できない場合は
011-330-1912

受付時間　9時～21時
年末年始（12/30～1/4）を除く

（2012年1月1日現在）

【ご相談窓口におけるお客さまの個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客さまの個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パソコンを廃棄または譲渡するときには、パソコン内に記録されているお客さまの重要なデータが流出するというトラブルを回避するために、必ずデータ消去を行ってください。データ消去の手順については、『取扱説明書 基本ガイド』の「本機の廃棄・譲渡時にデータを消去する」をご覧ください。

本機を廃棄・譲渡する際のデータの消去に関しては、下記の情報窓口をご利用ください。

- ●パナソニックのWebページ
http://panasonic.biz/pc/recycle/product_recycle/data_delete_office.html
- ●パナソニックパソコンお客様ご相談センター（フリーダイヤル 0120-873029（パナソニック））
- ●リース、レンタル会社への返却については、リース、レンタル会社の問い合わせ窓口

事業系パソコンのリサイクルについて

事業系使用済みパソコンの回収・リサイクルについては、下記 Webページをご覧ください。
http://panasonic.biz/pc/recycle/product_recycle/office.html

消耗品・有寿命部品について

本機の部品は、使用しているうちに少しずつ劣化・摩耗します。また、一部の部品の劣化・摩耗が原因で、製品としての性能が十分に発揮されない場合があります。本機を長く、安全に使用していただくためには、劣化・摩耗した部品を交換することが必要です。当社では、劣化・摩耗の進み方の違いによって、部品を消耗品と有寿命部品に分類して扱っています。

種類	部品	備考
消耗品	バッテリーパック	• お客さまご自身で購入し、交換していただく部品です。 • 保証期間内でも有償です。
有寿命部品	ハードディスクドライブ フラッシュメモリードライブ LCD（液晶ディスプレイ） キーボード ACアダプター リチウム電池 ファン （CD/DVDドライブ搭載モデルのみ） DVD-ROMドライブ スーパーマルチドライブ	• 修理による再生ができない場合（部品の寿命）に交換する部品です。 • 保証期間内の修理は無償ですが、部品の寿命による交換は、有償になる場合があります。 ※ 有寿命部品の交換の目安は、事務室で8時間/1日、250日/1年の使用で約5年です。ただし、昼夜連続して使用するなど、使用状態によっては保証期間内でも部品の寿命による交換が必要になる場合があります（有償になる場合があります）。

日本国内でBluetoothをお使いになる場合のお願い

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止したうえ、ご相談窓口にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えばパーティションの設置など）についてご相談ください。
3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときには、ご相談窓口にお問い合わせください。

2.4FH1 この機器が、2.4 GHz周波数帯（2400から2483.5 MHz）を使用する周波数ホッピング（FH）方式の無線装置で、干渉距離が約10 mであることを意味します。

25-J-3-1

● Bluetoothは、その権利者が所有している商標であり、パナソニック株式会社はライセンスに基づき使用しています。

●使い方・お手入れなどのご相談は…

パナソニック パソコンサポート総合サイト

http://askpc.panasonic.co.jp/index.html

パナソニックパソコンお客様ご相談センター 365日 受付9時～20時

電　話 フリーダイヤル 携帯・PHS OK 0120-873029（パナソニック）

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。
※発信者番号通知のご協力をお願いいたします。
非通知に設定されている場合は「186-0120-873029」におかけください（はじめに「186」をダイヤル）。

- 上記電話番号がご利用いただけない場合（発信者番号を非通知でお電話いただく場合を含む）は **(06)6905-5067**

ＦＡＸ **(06)6905-5079**

365日／受付9時～20時
（パソコン製品の使い方や技術的なご質問も承っております。）

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

●修理に関するご相談は…

サポートデスク

電　話 フリーダイヤル **0120-05-8729**
フリーダイヤルがご利用できない場合は
011-330-1911

ＦＡＸ ナビダイヤル（全国共通番号） **0570-00-8742**
ナビダイヤルがご利用できない場合は
011-330-1912

受付時間　9時～21時
年末年始(12/30～1/4)を除く

・有料で宅配便による引き取り・配送サービスも承っております。

ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

パナソニック株式会社 ITプロダクツビジネスユニット

〒570-0021　大阪府守口市八雲東町一丁目10番12号

SS0112-1022
DFQW1363ZB

Printed in Japan